

(様式第2号)

## SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和5年12月15日  
住 所 川越市芳野台3-1-1  
県内企業等の名称 日本メクマン株式会社  
代表者役職 氏名 代表取締役社長 西海 栄一

日本メクマン株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた  
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

### SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

日本メクマン株式会社では「工業製品を通じて国家社会に貢献する」という社是のもと、「コンプライアンスの徹底・顧客満足の向上・環境への配慮」3つの基本姿勢に沿って取り組みを進めてまいります。この考え方はSDGsと同じ方向を目指すものであり、社員一人ひとりが誠実に事業活動に取り組むことで、SDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	こまめな消灯及びエアコン設定温度調節などにより電気使用量を削減するとともに、ペーパーレス化によりコピー用紙の使用量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> ①電気使用量:16,906kwh/年 ②コピー用紙使用量:75,729枚/年	<2030年に向けた指標> 2022年比 ①8%削減 ②22.5%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 2022年比 ①3%削減 ②10%削減
社会	エコキャップ運動を推進し、世界の子どものワクチン接種に寄与する。また、営業所周辺の美化活動を実施する。 <(現状値)2022年の数値> ①キャップ回収量:0kg(0個) ②周辺美化活動:0回/年・延べ0人	<2030年に向けた指標> ①22kg(9,600個) ②3回/年・延べ72人 <取組開始3年後に向けた指標> ①8kg(3,600個) ②2回/年・延べ27人
経済	働き方改革の施策として、有給休暇の取得を促進する。 <(現状値)2022年の数値> 年次有給休暇平均取得日数:7.7日/年	<2030年に向けた指標> 10日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 8.5日/年

#### 【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。